

中齋塾 東京フォーラム
平成 25 年度第 1 回

平成 25 年 1 月 12 日
東京フォーラム
於 湯島聖堂

新体制に向けての抱負

お寒いところ、よくお出でを戴きました。有難う御座居ます。新体制スタートでございまして非常に嬉しく且つ身が引き締まる思いを致しております。猪瀬理事長の下で運営管理がどんどん進む事は有り難いです。私は一切そちらを気にせずにお話をする事、調べる事に専念させて戴きたいと思っております。今、委嘱状を受けられた方々もその様な事でもよろしくお願ひ致します。

木内顧問から 1 月 19 日に行われる法人設立記念式典で、塾長に対する本気の質問を受け、答えて貰いたいというアドバイスがありました。皆様に御連絡したところ、さっそく中齋塾の幹事さんから携帯番号について質問がありました。ご紹介致しますと、私は携帯電話をお教えしないこととしています。猪瀬理事長と私の兄が番号を知っていますが、それは二人ともメールが打てないので、やむなく教えているという理由です。最初の頃は理由をお話していたのですが、だんだん面倒になってきましたので、ある日、携帯番号の番号を教えた社員はクビだと言うと、すぐ分かって戴け、それが 2~3 人続き便利なので使っていました。すぐに周囲は理解できますが、でもあまり人様の仕事を取り上げるような言い方、手間暇を惜しんでその様な言い方は、良くないと今回反省をしました。

法人化に向けて中齋塾会員で司法書士・澤浦さんのお世話で、順調に進んでいます。理事や評議員が誕生し、その中で従来と違う動きが出てきます。中齋塾が三年、五年と年月を重ねていく中で、また会員さんが増えていく中で「どこで、論語を学んでおられるのですか」と聞かれた時、「中齋塾フォーラムで学んでいます」と答えて戴いた時、その方が素晴らしい解説や素晴らしい良いものを持っておられれば、他の人からも納得して戴けるのですが、上っ面だけの浅い知識ですと、中齋塾はこんな浅い知識程度のものかと言われるのは嬉しくありません。もう少し深く勉強をしているというお墨付きみたいなものを今考えています。その為新しい講座を作りたいと思います。その新しい講座は学問と経済の両方を睨みながら深く掘り下げて、数名とディスカッションみたいなものをしていき、どんどん深く追求していく。学問的なものは貝塚・宇野・渋沢論語を比較して掘り下げる構造を作りたいと考えています。

あとは、木内信胤先生の木内信胤研究をしたいと考えています。世界全体でみますと、循環型社会ができていいる江戸末期の日本が世界の理想像です。人口四千万人が外国からの輸入に頼らず、自給自足で生活環境が整っている素晴らしい国家が出来ていました。木内信胤先生がそのようなことを言っておられていたのを研究して、今の日本に役立てたいと思っています。私は以前に木内信胤語録を作らせて戴きましたが、もう一度、陽の目をあてるのが必要であろうと思い、今年から木内信胤先生の研究会を発足させたいと思います。

あともう一つ、北関東の岡本代表幹事の発案で、皆様の発表の場が欲しいとありました。八月はお休みだから、自分で勉強したもの調べたものを皆で発表したいとのこと。色々な人間関係が出来てきたと感じます。色々と連動して勉強会ができると良いなと思います。

一般財団法人になりましたから、ちょっと皆さんにプラスアルファをつけたいと思います。それぞれの立場で勉強や研究をして戴くと良いなと思います。例えば、これからまた終戦直後のようなことが起こると以前から申し上げていますが、御自身で終戦直後がちょっと気になるから調べる、または研究をする。それからデフォルトが起きた時の事など外国について私は詳しいという方は、外国の類似した事例を調べて下さる方がいらっしゃると有り難い。そして調べられたものを発表して戴くと嬉しいなと思っています。

あと憲法問題。これは戦後総括ということで憲法改定という事は避けては通れないと思います。中曽根元総理が執念を燃やした部分なので、ここら辺は安倍さんが参議員で維新の会と手を組んで、ねじれ現象が解消したのならばという前提条件ですけれども、憲法改定に進んで行くという方向性が見えてきます。国防軍の創設というのも見えてくる。80年から100年の間に「どの国も戦争を体験する歴史は繰り返す」と言いますから、その感覚でいくと日本が徴兵制を敷くのもそう遠い事ではないだろうという気がします。もしかすると我々が生きている間に、戦争を体験することになるかもしれない。憲法9条の改正というのも、安倍さんが長期政権になると見えてくる話だと感じます。

憲法を研究する方、外国のデフォルト、日本がこれから落ちるであろう類似した事例を研究する方、終戦直後を研究する方、御自分の波長に合ったものを研究して戴くと有り難いと思っています。

恒例の質問

- ・今年に入ってから嘘をついていない方

正直な人はついポロっと言ってしまうですね。厳格に守る必要はないです。

私の今年のスローガンは、「急がず、焦らず、無理をせず」というものを作りました。猪瀬理事長が誕生したお陰で、この様な文句が出てきました。今年一年間は約束をしない。計画は立てない、理想だけ。理想というのはこうなると良いなという程度です。木内信胤先生はいつもこういう言い方をされていきました。「計画なんて立てない方が良いのだよ、目

標を定めると、いついつ迄にこれをしなければならないと思う。そうすると段々心が小さくなってきて、氣に病んで大変だよ。いっぱい荷物を背負うから計画は立てず大きな理想で、こういう風になると良いなと思うがよい」。先生が 90 歳代に入られてから、その様な感覚が非常に強くなりました。その様な理想の持ち方は良いなと感じます。猪瀬理事長が運営管理、揉め事を全部引き受けて戴くので、私はお喋りと書きものだけで猪瀬理事長には「こういう風になると良いですね」と言えば良いだけです。

あとは同時進行を止める。私、会議に出ると内職をします。色々な会議に出ると、原稿をよく書いています。私が議長役をしている時は、1 つぐらいしか出来ませんが、その他大勢で座っていると内職が 3 つぐらいできる。たぶん大変だろうとは思いますが、今年はそれを止めようと思っています。

予定も詰め込まない。ということは約束もしないという事になります。誰かを間に挟んで話す間違えることが多いから、肝心なものは自分で直接するようになりたいし、話は直接本人とするということ、今年一年間実行しようと思っています。表面的なスローガンは「急がず、焦らず、無理をせず」にすれば良いなと考えています。ですから、「嘘をつかない」というのもやらないで「嘘をつかないでいけたら良いな」とと思っています。どっちかなと思った時に自分の意思でこのクロっぽいのはシロで良いです。以前に私はクロだと思っても、木内先生がシロだと言ったら「はい」と聞いてしまった記憶はあります。ですから自分が嘘をついたなと若干心によぎっても、大きな部分で嘘をついてないと思ったらよし、相手の為になるのなら、よしということはどうでしょう。

・今年に入ってから良い日が続いていると思う方。

これは多いですね。

・今年に入って御自分なりの健康法を実践している方。

・有難うと言ひ、有難うと言われた方。

特に有難うと言われた部分に力点を置いて考えて下さい。

素読論語 解説 『先進第十一』

【一六】季氏 周公よりも富めり。而るを求や之が為に聚斂して、之に附益す。子曰く、吾が徒に非ざるなり。少子 鼓を鳴らして之を攻めて可なりと。

季氏一族は、魯の国の御先祖様よりお金持ちになった。それなのに、弟子の冉求が季氏一族のために重税を課して季氏一族の財産を増やしておる。一割以上の税金は、標準以上で重税になるのでよくない。国民から税金を取り立てようという輩は、私の弟子だとは認めない。「孔子がお弟子さん達に彼は良くない事をしているから駄目だ」と世間に言いたてもよい。鼓を鳴らして攻めたててよい。

一割以上は重税とみる。そうしたら今の日本は、世界各国はどうなっているのかと思います。現在にあてはめて考えてみますと、消費税を8パーセント10パーセントにする為には、今年の秋までに経済が順調であれば、その線に乗るという事なので、何が何でも秋までに景気が良くなったという状況を無理やりに作るというのが見え透いています。おまけに軽減税率を取り入れようなんて、何か姑息な手段を取り過ぎている感じがします。本当に**減税**をすれば良いのです。国が貧しくなった。国民が苦しい時には減税をすべきであると山田方谷は述べています。しかるに、ものが見えない官僚の人達は税金の上に税金を課そうとする。このような動きは国が減びるもとだと、言い続けているにも関わらず、今の日本は歴史に反することをしようとしている。大きな目で見ると、ちょっと動きが違うだけで民主党政権と同じ道を安倍政権は歩んでいるなと感じています。

【一七】柴^{さい}や 愚^ぐなり。参^{しん}や 魯^ろなり。師^しや 辟^{へき}なり。由^{ゆう}や 嗔^{ちん}なり。

齒に衣着せぬという言葉がありますが、お弟子さん達の批評で、孔子でもこういう言い方をするのだなと思います。(面と向かって言われると腹が立つとは思いますが、面と向かって言っていないかもしれませんね)

子羔は愚か者。曾子は鈍いね。子張は誠実ではなく、ちょっと物事を大きく言いすぎる。子路は粗野だし粗暴だということを他の弟子に向って言っている。これはたぶん磨いているのでしょ。面と向かって言われれば腹も立つと思いますが、直接的には言わないで柔らかく表現できれば良いなという気がしました。

【一八】子曰^{しいう}く、回^{かい}や 其^それ庶^{ちか}からんか。屢^{しばしば}空^{むな}し。賜^しは命^{めい}を受けずして貨^う殖^かす。億^{かしょく}れば則^{おもん}ち屢^{ぼか}中^{ちゆう}る。

顔回と子貢のことを言っています。顔回は自分の後継者だと自他共に認めていたお弟子さんだし、子貢は器物だよという言い方をしたけれども、子貢がいなければ孔子もご飯が食べられなかった時があったらと思うのです。「貨殖す」というのは儲かった、利殖の才ありということです。子貢が外国と貿易をして、かなり儲けました。子貢がいなければ、孔子だって財政的にかなりきつかったでしょう。顔回は精神的に安定感をもたらし、子貢は財政的に安定をもたらしたと思いますので、お弟子さん達の評価を違った形でしたのだなという風に考えます。

顔回は素晴らしい人物である。道徳的、倫理的に素晴らしい人間だけれども、こういう人に限って米櫃は空っぽだ。子貢は命令も受けないのに、勝手に思惑をして儲けている。「思

惑」は今でいけば、株式投資をして 99%の確率で思惑が当たっている人間だから素晴らしい。こういう方面では大したものだねと孔子は両方を褒めていると捉えれば良いでしょう。

周りを見渡して見ますと文武の才両方を持っている人は少ないですね。陽明学が評価されるのは、文武どちらも出来ること。今回洪沢栄一さんの本を出させて戴きますが、表紙は河井継之助の時と同じで、小山正太郎の絵です。洪沢栄一の表紙は「論語と算盤とシルクハットと刀」というのが一枚の絵に納まっています。文と武が両方できた人物ということで小山正太郎は洪沢栄一を評価しています。

【一九】子張 善人の道を問う。子曰く、述をも踐まず。亦 室にも入らずと。

子張が善人の生き方について質問をしました。孔子は、善人は悪事を働かない。ただ人間としての踏むべき道を学ばないと、駄目である。学んでいない人間は、悪い事をしなくても、人間として完成される方向には行かないと答えています。学問の奥義には達していない。やはり学ぶべき人に学び、自ら勉強をし、切磋琢磨をしていかないと人間としては完成しない。だから学ぶのは必要だと捉えてみると良いでしょう。

そういう風に行きますと、歴史に学ぶということは必要だと思うのですが、我々はどこまで歴史に学んでいるかというのが気になります。全部自分で一から満点までやると考えてしまうと難しく大変ですから、満点を取ろうとは思わないで自分は 15 点ぐらいで後は誰かにバトンタッチをしていけば良いと考えて、軽やかに行きましょう。

話が広がりますが、論語の根本的な考え方で「述」があります。

述は繋いで行く、バトンタッチをして行くとありますから、満点の内の 10 点、次は 15 点行く人が出れば、間違いなく道は進んで行きます。論語はこの「述」という精神に基いて伝わっています。「仁」が一番のベースだと言いますが、それは研究する人が仁という道から入ればいいわけで、述という考え方が無ければ、また繋いで行かなければ論語は現在まで繋がっていません。私は論語のベースは述だと感じます。自分で全部やらなくても誰が次の人にやって貰えば良いという風に考えて学びの道を深めて戴くと良いでしょう。

【二〇】子曰く、論の篤きにはれ与せば、君子者ならんか、色荘者ならんか。

議論を深め態度が重厚な人で君子のように見える人。これは君子のように見えるが、本当に上っ面だけの人は話をよく聞かないと分からない。言葉だけ綺麗に話していても、信用してはいけない。言行が一致しているかどうか見る必要がある。

君子に近い人か表面的な人か、良く見極める自分自身の判断基準をお持ちなさいという風に捉えると良いと思っています。

紹介書籍

『私の宗教観』木内信胤著 プレジデント社

今回はその本の中の良い言葉を抽出します。木内先生は『私が宗教といふ言葉を、宗教的信条を指すものとして使ひたい。そしてその「宗教的信条」とは、もっと高尚に、もっと上等に生きたいと思ふ心持を定義したい』と書かれています。

木内先生に言わせると「わかる」というのは、朝起きてから夜寝るまで考え続ける。寝ている時にも考え続ける。「わかる」というのは四六時中考え続けていると、どこかでふっと腑に落ちる。そういう心持を「わかる」と言う。表面的に分かったものをくわかる>と木内先生は仰られなかった。それが進んで行くと木内先生は、私のわかるという心持は宗教でいうと禅宗の悟り。悟りというのは閃きである。常識でいうと閃き。閃きが積み重なっていつて大きな悟りに繋がる。これが私の宗教的な心持。繋げて見ると、宗教というのはそういうものだ。木内先生は仏教とキリスト教を見比べて考えていくと根っこは同じ。日本人は宗教と言われると抵抗があるから、宗教的な心持と考えた方がいいですねという言い方をされました。

時事評論

スマホを使っている方いますか？

私は今年からスマホを使いだしました。何かにつけて契約ばかりで、また、ここから先が知りたければ有料という説明ばかりです。スマホというものは蟻地獄だなと思いましたし、スマホが蟻地獄に見えました。どんどんお金をむしり取るような仕組みです。一体これは何なんだと思いました。だからそういったものは一件も契約しないで使っていますが、それでも使えます。

自然災害ーノロウイルス

自分自身の生活習慣を変えなければいけないかなと感じています。というのは、どこに伺っても、入口に消毒液が置いてあるので、手を洗うこと消毒する癖はついたのですが、ノロウイルスは水を流しっぱなしにして指の股をよく洗わないと、ノロウイルスは対応できないという説明があります。だんだん強力なウイルスが出てきたら、そのような洗い方をしなければいけないのかなと思います。中斎塾会員さんの中には医療関係者もおられますから、定期的に手の洗い方を講義してもらうのも良いかと感じます。

今日の新聞で気になったのは、中国のケンタッキーフライドチキンが促成の鳥だからいけない。なぜ促成かといえば、24時間照明を点けて一年中餌も食べ放題で成長させ太らせ

る。餌の中には抗生物質や生長促進剤を入れる。人間にとって良くないものを入れていきます。だから中国ではケンタッキーフライドチキンは良くないと糾弾し始めたという記事が朝日新聞に載っていました。木内顧問曰く、「私の母は作っている人の顔が分からない。作っているのが誰だ分からないような食べ物を、食べられるものか」と言っておられていたそうです。だんだん世間も野菜など、生産者の名前を入れて売っているものが増えてきました。以前に、ある地方の市長さんが「我が市の子供達をみていると、荒れる、荒んでいるという子供が増えてきたのは、どうも今の食べ物、野菜などが原因ではないかと感じました。農薬・抗生物質などが人間にとって良くないものを使って育てられた野菜等を、食べているからなのではないか」と言っておられました。市は行政として日本で初めて、子供達がキレないような農薬を開発した食品を、提供する市でありたいとのこと。食糧革命みたいなものも起きるなと思いました。第一、中国では野菜の農薬を洗い落とすための洗剤が売れている。自国で作った野菜は、まともに食べたら気が変になってくる、ということが直感的に分かっているのではないのでしょうか。

日本原子力発電が、今年度（2012年度）の上半期 209 億円の純利益が生ずるという書き方をした記事が朝日新聞に載っていました。これは酷いものだと感じました。原子力を東電関係五社に売って利益を出す会社ですが、今は原子力が止まっています。売っていないのです。それなのに基本料金を取っています。基本料金 760 億円を貰っている。基本料金は電力がなくても支払うという契約になっているので、濡れ手に粟で儲かってしまう。売るべきものが無くても基本料金だけは貰いますと、やるものだから 209 億円の利益がでる。おかしい話です。ものを売ったら対価で戴くものが、相手の都合が悪くても基本料金は貰いますという商売はおかしいし、それがまかり通っているのが変です。それを消費者から取るのはおかしい国だなと思います。

三つの見方

ここ数年来の民主党政権の中で、新聞を見る三つの見方を再度申します。

今年は自公政権になりましたので、見方を変えました。私を変えたものは、民主党政権から自公政権に変わり、安倍さんだけが表面化しているけれど、安倍さんと麻生さんの二人三脚の政権だと思っています。

意識的に経済と外交と教育を安倍・麻生政権でどう進めていくのか。

経済については、やはり国債をみるがよいでしょう。国債については 1 千兆円を超えています。今回は借金漬けを又やりました。借金をさらに増やして経済の活性化を図ろうとしています。さてこれは、どうでしょう。経済の諮問会議、産業競争会議、色々と新しい会議を打ち出しました。ここで気になるのは、デフレ脱却です。インフレーターゲット 2% の目標を出しました。数年前はインフレーターゲットの話が出るとハイパーインフレに直結するから危ないので、話しそのものもしないというのがマスコミ論調でしたが、今は誰もインフレーターゲット論に対して批判をする人がいない。わずか数年で、よくぞこれだけ変

わるものだと思うような変わり方をしています。経済については禪を締め直して見ていかなければ危ないぞと思っています。

外交に関しては、中国・北朝鮮・ロシア・韓国・台湾。ここら辺を特に意識して見る必要があります。安倍政権がスタートしたら、今日の朝日新聞を見て戴ければ分かりますが、北朝鮮が安倍政権に対して色目を使っている記事が出ていました。期待をしているということなのでしょう。どんどん経済的なお裾分けが戴けるということで北朝鮮が色目を使った。それからロシアは北方領土に関することは早くケリをつけたいと思っているわけですから、森元総理を水面下で動かして三島一括返還論などが浮上しています。また二島一括返還で合意に達しかけたこともあります。プーチンさんは引き分けを言い出したりするわけです。水面下では色々と動いていますので、急転直下ロシアと手を結ぶということはありませんと踏んでいますので、そうなる就先ほど申した国々を良く見ていないと一気に外交が進み過ぎることがあると思っています。それが日本にとって良いか悪いかというのは、単純にそこだけの問題ではありません。アメリカが日本をどう睨んでいるかというものに繋がります。以前に大野参与が、アメリカにとると日本はロシア・中国と仲良くされては困ると話をして戴きました。アメリカは中国とロシアが日本と関係悪化になるように水面下で手を打っている。韓国も日本と仲良くならない様にアメリカ黙認のもとで韓国・中国・北朝鮮は、どんどん日本を攻めてくれてよい。アメリカはギリギリの所まで手は出さないという秋波を送っているといえます。水面下と水面上の外交を見ていく必要があると考えています。外交は安倍さんが中心になって動くわけですから、専門家の知識なんぞはいらない。外交問題に関しては相当強い態度でいく。ただ水面下では、かなり活発な動きをしましょう。これは安倍さんの言動で見えてきます。それは結果的に憲法改正に繋がる動きなのだろうと思いますので、ここら辺は要注意で見ていきましょう。

教育は、教育再生実行委員会をスタートさせる。その中に曾野綾子さんと八木秀次さんが入ります。硬派の人が入るのは、日教組の動きをストップさせて日本人の本来のものの考え方を取り戻したいと進めていく。外国からみると日本は劇的に変わり始めたといえるでしょう。その様な政権になったと思っています。

前は色眼鏡で民主党の打つ手は見るべきである。民主党の打つ手は、全て日本を悪くする手しか打たない。無様な手をどうやって打っているかを見て下さいという言い方をしていたのを今後は安倍政権の手の打ち方は是々非々で見えていかないといけないし、我々も自分自身の判断力をよくもって判断していく必要がある。ですからこの中斎塾フォーラムの中でもたくさん議論をして戴くと良いなと思います。それだけの中身を安倍政権はもっているであろうと考えます。

三つの見方で、民主党政権と違うことは、国の借金が 1 千兆円を越したことです。金利が騰がり出したら、とんでもない危険性に繋がるのは高い。日本の国債は綱渡りが始まっていると感じます。山々の深い谷に綱が張ってある。そこをサーカスの人が綱を渡って行くが、ちょっと間違えたら谷底に真っ逆さまに落ちて即死するという感じがします。国債

は注視するに越したことはない。日本の国債だけ見ていて気になったらユーロを見る。他の国々の動きも見る必要が出てきました。

アベノミクス

アベノミクスの根幹は、金融緩和、62万人の雇用を創出すると新聞に書いてありました。良い言い方をすれば安倍さんは、政治家としてこうありたいし、こうすべきで、現実に政権を取ったからこれをやりましょうという思考回路ですが、基本的には嘘つきですね、たぶん。大嘘つきだという定義つけて自公政権を見ていくと、目的をもって目的設定をしても約束したものが約束通り進まなくても、どんどん突き進むから嘘つきだと言われるのです。木内先生流に言えば、政治家は大きな理想を持って、具体的なものは官僚に任せるような事をすれば、ちょっとは違う動きになるのではと感じます。政治家のあり方も変わってくると思います。できれば政治家はお給料を貰わない方が良いですね。ボランティアで戴きたい。でも日本と外国のボランティアは違いますね。日本の感覚では無私ですが、外国はお金を取りますね。そこら辺をベースにして、ただ取り過ぎない程度に「ほどほど」という考え方を持って政治家は改めて戴きたい。

国債も発行しないで済むという方向に、もし安倍政権が進んで行けば日本は変わる。国債は無しとはいかないだろうから、やはり壮大な倒産劇。自公政権は大ダメージを受けて次のものが生まれると思います。次のものが生まれてきた時にたぶん日本は大きく変貌します。変貌の第一歩を自公政権が今回踏み出したという風に見えます。

経済財政諮問会議、産業競争力会議、教育再生実行会議、改めて出てきた会議は良く見しておく必要があると考えています。

考える材料として、今日いくつか申し上げた自分自身のテーマを見つけて戴くと良いと思います。御自分のテーマを明確に見つけて、できればサマーカレッジで研究したものを発表するという動きになって戴くことを期待しまして、今回のお話を終了させて戴きます。